

2つの図形が合同であるとき
対応する辺や角は等しいので

$\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ ならば $\angle B = \angle F$

このように表すことができる。

○○ならば△△のように

「ならば」の前の○○の部分**を仮定**

「ならば」の後の△△の部分**を結論**

※仮定は証明の中で使ってもよいが
結論は証明の最後だけに使う

証明をするときのポイント

- ① 合同になりそうな三角形をかく
(結論をふくんだ三角形を見つける)
- ② 等しい辺または角をかく
(仮定をフルに活用しよう！)

③ 図から等しい辺または角をかく
(共通や対頂角など理由を述べる)

④ 合同条件をかく

⑤ 結論をかく

5つのポイントを
おさえ証明しよう!